

留 学 報 告 書

作成日:2018年3月28日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ハワイ大学マノア校 現地言語: University of Hawaii at Manoa
留学期間	2017年8月～2018年3月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年3月19日
明治大学卒業予定年	2020年3月

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
プログラム費用		円	
保険料	\$473	50,000円	
授業料	\$19,881	2,100,000円	
宿舍費	\$9,467	1,000,000円	Off-Campus Dormitory 8か月
生活費		円	
食費	\$379	40,000円	
渡航旅費	\$2,840	300,000円	
その他	\$947	100,000円	
合計	\$33,988	3,590,000円	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
寮
2)滞在費
月 9~10 万(入寮時期による)
3)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)
4)設備について
<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂(浴槽) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> エアコン <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> インターネット環境 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他()
5)住居を探した方法:
留学事務室の推奨滞在先一覧より選択
6)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
住人によって、寮の生活が楽しめるかどうかが決まります。一緒に生活していて楽しいと思う人もいれば、寮の共有スペースを散らかしっぱなしにする住人もいるため、それに耐えられない方はコンドミニアムなどで 1 人暮らしの形態をとることを推奨します。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?
<input type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input checked="" type="checkbox"/> 利用した:可
2)保険について。現地の医療保険に加入しましたか?
<input checked="" type="checkbox"/> した () <input type="checkbox"/> しなかった
3)留学前後での予防接種の必要の有無
<input checked="" type="checkbox"/> 有 (ツベルクリン検査) <input type="checkbox"/> 無
4)学内外で問題があったときは誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか?
大学内の職員
5)現地の治安はどうか? また現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか? 実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか?
昼夜問わず、治安がいいとは言えない。特に人通りの少ない地域ではひったくりや薬物の売買などの事件が発生していたため、夜間はできる限り外出を控えるようにした。
6)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか? (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
寮や大学内、カフェでも wifi は利用可能だったため特に問題なかった。
7)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
日本で米ドルを入出金できる口座を開設し、そこに入金してもらった。
8)利便性、買い物はどうでしたか? また現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば入力してください。
基本的に日本よりも物価が高いが、日本食のスーパーやドン・キホーテなどがあったため、日本のものは大体手に入った。
9)授業料の支払方法、支払時期等について入力してください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)
アメリカンエクスプレスのクレジットカードが大学の支払いに対応していなかったため、大学内にある支払窓口にて現金で支払った。
10)その他、生活等に関して参考となる事項を入力してください。
不審者には気を付けること。

渡航について

1)ビザについて。ビザの種類を入力してください。
ビザの種類(F-1・J-1 など): J-1
2)取得方法、提出書類、取得手続きにあたっての注意点等。
ビザの書類作成や発行にはかなりの時間がかかるので、余裕をもって準備に取り組むこと。
3)手続きに要した日数(提出書類の取得からビザ取得まで)
約 30~40 日
4)出国と帰国の日付を入力してください。(西暦で入力)
出国: 2017年7月31日
帰国: 2018年3月19日
5)経路を入力してください。(例:成田→シカゴ→ニューヨーク→シカゴ→成田)
成田→ホノルル国際空港
6)現地での出迎え
<input type="checkbox"/> 有 () <input checked="" type="checkbox"/> 無
7)到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容
有 月1回程度 大学で学ぶことの確認など

卒業後の進路について

1)留学を通して生じた、今後の進路についての考えについて教えてください。
留学前は将来自分がどんな仕事に就きたいかなどが明確になかったが、世界的に人気のある観光地であるハワイでのインターンシップを通じて観光業の仕事の楽しさや、自分が思っていたものとのズレを確認することができ、将来観光業につくという選択肢が自分の中で生まれた。また、現地で生活して自分の英語力の未熟さを再認識できたので、今後さらに英語の勉強に力を入れたいと思った。
2)留学前の単位取得や就職活動に対して工夫した点
留学前は現地の大学の講義の難しさや単位の取りやすさが不明瞭だったため、明治大学での単位は落とさないようにきちんと学習をした。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
21 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めて入力して下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
SLS150:Second Language Study	第二言語学習
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(3)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に150分が16回
担当教授	Graham Crookes
授業内容	第2言語学習の歴史や発展を様々な国や時代の観点から学習する。
試験・課題など	第2言語に関する文献を読み、自分で要点をまとめてくる課題が多く、時折読んだ文献について感想や意見をコメントに書くことがあった。 試験は選択式と自分の意見を書くエッセイ式の試験が行われた。

感想を自由に述べて下さい	ディスカッション形式の講義であったため、非常にインタラクティブで楽しかった。講義も教授が淡々と進めていくのではなく、自分たちで作りに上げていくような講義で充実していた。
--------------	--

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
TIM101:Tourism Industry Management	ツーリズム・インダストリー・マネジメント
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(3)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に150分が16回
担当教授	Daniel Spencer
授業内容	観光学の根本を学ぶ講義だった。観光の歴史や、発展、現在観光において不可欠であるものの詳細などをパワーポイントを通じて学ぶ。
試験・課題など	課題は特になく、試験はマークシート方式。1回のテストに出題される範囲が広がったため、学習に苦労した。
感想を自由に述べて下さい	観光学を学ぶにあたって役に立つ授業ではあったが、講義としては教授がパワーポイントに書いてあることをひたすら読むだけであったため、少々退屈だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
TIM102:Food and Culture	食と文化
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(3)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に150分が16回
担当教授	A. Wilkins
授業内容	世界各国の食文化や近年の食に関する問題などを教科書を通じて学ぶ授業。
試験・課題など	Web形式の選択問題とレポート(自国特有の食や文化に関するもの)の提出があった。
感想を自由に述べて下さい	世界の様々な食に関するマナーや、食べることが禁止されている食物などを学ぶことができ、非常に面白い講義だった。また、最終レポートは自分でレシピを考え、分量や味付けなども自分で考えたためとても充実したレポート作成ができたと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
HWST107:Hawaiian Study	ハワイアン・スタディ
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(3)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に150分が16回
担当教授	Pualani Kauila

授業内容	ハワイの島々の歴史をビデオや資料を見て勉強する。
試験・課題など	ハワイのマップに関する小テストが数回ありました。また、ハワイの歴史に関するビデオを見た後は、必ずそのビデオに関する感想や意見分などを書くレポートの課題が出題されました。定期試験・期末試験は計3回行われ、選択問題と自分の意見を書くエッセイ式の問題が出題されました。
感想を自由に述べて下さい	今までハワイをただの観光地と思っていたけれど、この授業を通じてハワイの悲惨な過去や発展するまでの厳しい道のりがあったということを知ることができ、とても面白い授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Introduction to American University Classroom	
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(1)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Dennis Chase
授業内容	ハワイ大学での勉強に関する説明会
試験・課題など	なし
感想を自由に述べて下さい	留学担当の Dennis 氏が質問などに真摯に答えてくれてとても助かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
BUS395: Internship	インターンシップ
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input checked="" type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(6)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 1200 分が 12 回
担当教授	Richard Varley
授業内容	日本の観光会社である JTB でインターンシップを行う。
試験・課題など	報告レポートが2つあります。
感想を自由に述べて下さい	アラモアナショッピングセンターの一角にある JTB は1年を通して来客数が多く、大変な仕事でしたが、接客などの業務はとてもやりがいがあり職場の方々もとても親切にしてくださいましたのでとても充実したインターンシップを送ることができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Summer NICE	
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(2)単位

本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に1200分が3回
担当教授	Robert
授業内容	ハワイの歴史・言語などをディスカッション形式で学ぶ
試験・課題など	プレイメントテスト(文法とリスニング)が1回
感想を自由に述べて下さい	ECCの全国スピーチ優勝者や大人になってから英語を学び始めた方など様々な人と英語やハワイの文化を学ぶことができよかった。また、学外研修なども行われたので飽きのない充実した授業でした。

留学に関するタイムチャート

2016年 1月～3月	受験終了・明治大学入学
4月～7月	ホームページや説明会などで留学のことについて調べ始める
8月～9月	TOEFL iBT にむけた勉強を始める
10月～12月	TOEFL iBT 受験、留学先を決定・面接
2017年 1月～3月	ハワイ大学への留学が正式に決定 インターンシップ先である JTB と Skype 面接
4月～7月	J-1 ビザの取得及び留学準備
8月～9月	留学開始 NICE 語学プログラム3週間 9 月よりハワイ大学での授業を開始
10月～12月	10～11 月：中間試験 12 月：期末試験 JTB でのインターンシップを開始
2018年 1月～3月	1～3 月中旬までインターンシップ 3 月 19 日：日本帰国・留学報告書等の提出
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	私は高校2年生の時に初めてイギリスに留学しました。日本とは全く異なる環境で違う言語を話す人たちと交流する、という経験がとても新鮮で私にとってとても貴重な経験になりました。しかし留学期間は1週間と短く、海外の文化や言語を学ぶのには少し時間が短すぎました。明治大学国際日本学部は、様々な国の大学と提携しており、なおかつ留学期間も半期～1年という長い期間を設けていたので海外の文化の理解や自分の言語能力を向上させることができると考えたので、留学を希望しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学前にもっと自分の英語力を向上させておくべきだったと思いました。日常生活を過ごす分には特に困りませんでしたが、大学の友人との会話や大学の講義で教授が話していることなど時々聴き取れなかったり、語彙力が足りないために相手が何を伝えようとしているかがわからない時がありました。また、インターンシップではハワイについてお客様から質問される場面が多くあったので、もう少しオアフ島のことについて調べておくべきだと思いました。
留学中に役立った書籍、ウェブサイト等	書籍やウェブサイトではありませんが、ハワイではスマートフォンのマップのアプリとバスの時刻表のアプリがどこに行くにしても不可欠なものでした。例えば、ある観光地に行きたいときにはマップのアプリを利用して現在地から目的地まで何 km あるか、どのような交通手段がいいか、などがすぐに検索できます。また、ハワイのバス停には紙の時刻表が置いていないため、時刻表のアプリがないとバスを逃してしまったり、バス停についてからかなりの時間を待たされることがあったので、この2つは絶対に必要だと思います。
この留学先を選んだ理由	私は1年の前期にツーリズムマネジメントという講義を履修していました。そこで観光のことについて学び、普段は楽しむためのものとして認識している観光を学術的視点から学ぶということに非常に興味を覚えました。ハワイは世界的にも人気の観光地であるため、観光について学ぶには最適な場所だと思い、またハワイ大学アカデミックインターンシッププログラムでは現地の観光会社でインターンシップまで経験ができると説明を受け、自分の留学先に適していると思い選択しました。
大学・学生の雰囲気	ハワイ大学にはたくさんの留学生がおり、様々な国や地域から学生が来ているので、留学生だからと言って周りから注目をされることもなく、過ごしやすい雰囲気でした。また、ハワイ大学の教授は学生に対してとても友好的なので、授業を受ける際にも不安なく学習に集中することができました。ただ、キャンパスがとても広いので、授業ごとの教室移動で最初の頃は迷ったりして大変でした。また、食堂はお昼前後になるとものすごい数の学生でいっぱいになり、なかなか席を取ることができませんでした。
滞在先の雰囲気(寮・アパート・ホームステイ・シェアハウス)	私は留学期間中、寮を一度も変えなかったため、いろいろな人と寮で出会いました。仲良くなった人もいましたが、衛生観念や性格の不一致などで少し問題が生じることもありました。寮のそのものは大学からも歩いて行けるほどの距離で、周りには食事をするところや、食材を購入するスーパーマーケットであったり、レポートを印刷するためのプリンターのおいてある施設が近くにあったため、非常に快適に過ごせました。また、寮付近にはバス停が多くあったため交通面でも充実していたと思います。
交友関係	自分が留学前に思っていたような、日本以外の国の人と多く友達になれる、ということはありませんでした。やはり、現地にいる日本人の方や、日本の文化をもともと知っていてそれが共通の話題となり友人になる、というケースが多かったと思います。また、寮に新しく来た人などと交友関係を結んだりもしました。また、インターンシップ先に他の大学からインターンシップをしに来ている方や、同年代ですでにハワイに住んでいてそこで働いている方もいたのでそういった方たちとも交友関係を結びました。
困ったこと、大変だったこと	日本の大学と比べて、アメリカの大学はしなければならない課題や予習・復習の量が多く、最初の頃はそれらをこなすのがとても大変でした。また、学費の支払いをクレジットカードで済ませようとしたのですが、大学のオンライン決済が自分の所持していたクレジットカードに対応していなかったために、巨額の現金を ATM からおろして大学まで持っていき、直接払わなければならなかったことが、ATM には 1 日の引き出し上限が設定されていたためとても大変でした。
学習内容・勉強について	上記の履修科目にある Tourism Industry Management, Hawaiian Studies, そして Second Language Study を中心に学習しました。当然ですがどの教科も英語を使います。特に Hawaiian Studies と Second Language Study は定期的に小テストや小レポートが課題として出されたので、こまめに講義の復習をしていました。Tourism Industry Management に関しては、小テストなどはなかったため、次の講義の内容を教科書を読むなどして予習をしていました。

課題・試験について	<p>課題は受講している講義ごとにあたりなかつたりと違いが激しいです。あるものでは2日で50ページ近い分量の文献を読み、それを自分の言葉で要約してくるような課題もあり、日本の大学と比べると課題や予習の量ははるかに多いと感じました。</p> <p>試験は全体的に1回のテストで出題される範囲が広く細かいところを覚える、というよりも重要な要所をきちんと押さえていくようなテストが一般的でした。テスト形態はさまざまですが、時間をかけて準備をしないと安定した点数がとることができないようにテストが作られているように感じました。</p>
大学外の活動について	<p>ハワイ大学で講義を受けていた時は、講義終了後に友人とどこかに出かけたり、予定がなかった場合は大学内にある図書館で勉強をしたり、ジムで運動をしたりしていました。インターンシップ中はもう1つのインターン先の人と休日の曜日が異なっていたので、基本的にインターン先で知り合った友人と一緒にご飯を食べに行ったり、釣りをしに行ったりしました。しかし、ハワイは外出しているとどうしてもお金を使ってしまうため、寮にそのまま帰るということもありました。</p>
留学を志す人へ	<p>留学を希望するにあたってまずは目先のTOEFL iBTの勉強をしてください。TOEFL iBTは非常に難しく、試験時間も4～5時間と長いうえに休憩時間は10分程度しかないのが初めて受験される方はかなりきついと思います。またTOEFL iBTは一回の受験に20,000円以上かかる非常に値段の高いテストです。少ない回数で目標留学先の基準点を超えるためにも早いうちからTOEFL iBTの勉強を始めてください。</p>

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床
	学校	学校	学校	学校	学校	自由時間	準備
午後	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	ホノルル市内を散策	釣り
	図書館にて勉強	ジムで運動	図書館にて勉強	ジムで運動	どこかへ出かける	昼食	昼食
夕刻	自由時間・夕食	勉強・夕食	夕食・自由時間	仮眠・夕食	夕食・勉強	勉強・夕食	釣り
夜	課題・就寝	就寝	勉強・就寝	勉強・就寝	就寝	就寝	夕食・就寝